

ソーラーシティ・ジャパン シンポジウム

日本版グリーンニューディール政策とは

～その手法や可能性について、環境先進国ドイツの事例と比較して～

東京会場

日時： 6月8日（月）

時間： 13：30受付開始 14：00開演 17：00終了

会場： 大阪市立難波市民学習センター



特定非営利活動法人ソーラーシティ・ジャパンは行政、市民、NPO、企業がともに手を取り、再生可能エネルギーを全国に広げていくネットワークをつくるお手伝いをしています。

ソーラーシティ・ジャパン組織内のクラブヴォーバンは、環境先進都市ドイツ・フライブルク市において最も優れた事例であると世界中から評価されている「ヴォーバン住宅地」の先行事例に学び、さまざまな分野の方々との交流・情報交換などを通じて、持続可能な環境共生・低炭素型の住宅とまちづくりに取り組んでいきます。

PROGRAM ~本日のプログラム~

13：30	開場
14：00	ご挨拶 ソーラーシティ・ジャパン 理事 早田 宏徳
14：10	基調講演 村上 敦 「日本版グリーンニューディール」について
15：10	休憩
15：20	パネルディスカッション 「住宅分野での低炭素社会」について ファシリテーター 上岡 裕（ソーラーシティ・ジャパン代表理事） ◇村上 敦（環境ジャーナリスト） ◇酒井 正治（地球環境イニシアティブ（GEIN）） ◇柴田 政明（㈱エイワット代表取締役） ◇早田 宏徳（ソーラーシティ・ジャパン理事）
17：00	終了

●村上敦 氏プロフィール●

ドイツ在住の日本人環境コンサルタント。フリーライターとしてドイツの環境施策を日本に紹介。南ドイツの自治体や環境関連の専門家、研究所、NPOなどとのネットワークも厚い。2002年から、記事やコラム、本の執筆、環境視察のコーディネート、環境関連の調査・報告書の作成、通訳・翻訳、講演活動を続ける。

■著書：「カーシェアリングが地球を救う」（洋泉社）「持続可能な社会は市民参加型の住宅地からはじまる、フライブルク市・ヴォーバン住宅地レポート」（学芸出版社）「フライブルク市のエネルギー政策」レポート（第一部）「フライブルク市のエネルギー政策」レポート（第二部）「豊かな暮らしと子供たちの世代のための低炭素住宅」

■翻訳書：「エコロジーだけが経済を救う」フランツ・アルト著（洋泉社）

※ 基調講演をして頂きました、村上敦著のクラブヴォーバンが提案する『日本版グリーンニューディール』の最新書籍の販売をいたします。シンポジウムだけでは紹介しきれない各産業分野における「グリーン・ニューディール政策」による可能性を検証した本となっています。



SOLAR CITY JAPAN

<http://www.solarcity.jp/>